

2 1 泉平ハイツ事業報告書（令和4年度）

- 事業方針**
- ・ 施設を利用いただく方々の「その人らしさ」を尊重し、安楽な日常生活が過ごせるように、より質の高いサービスの提供に努めます。
 - ・ 法令順守の徹底と倫理観の高揚により、個人情報保護、虐待行為の防止、介護事故の防止に取り組みます。
 - ・ 職員の資質向上に向けた研修計画を策定し、優れた人材を育成することにより専門性や実践力を高めます。
 - ・ 地域住民の方々との信頼関係を築き、地域資源の円滑な活用と地域ニーズへの貢献活動を推進します。

○利用者状況及び職員体制

令和5年3月31日現在（単位：人）

事業種別	利用者		職員				
	定員	現員又は年間利用者	介護員	看護師	調理員	その他	合計
介護老人福祉施設	74	71	45	5	12	7	97
短期入所生活介護	16	年間 延4,960					
通所介護	25	年間 延3,536	7	2	0	1	
認知症対応型共同生活介護	18	17	17	0	0	0	
指定居宅介護支援事業	35	36	1	0	0	0	

* 職員の人数には非常勤職員が含まれる。また、職員の内その他は、事務、洗濯、庁務に係る職員である。

1 サービス業務

（1）介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

- ・ 毎月行う勉強会では、介護保険法の目的である「尊厳の保持」「自立支援」「福祉の増進」を念頭に、より良い接遇や支援を学びました。また、職員間で気づき合う「気づきシート」を導入し、毎月提出することで自身の行動の振り返りができ、接遇マナーやコミュニケーションスキルの向上を図りました。
- ・ マスクで表情が分かりづらい状況でしたが、利用者お一人おひとりの状態の観察を注意深く行くと共に、職員はマスク越しでも笑顔を絶やさずコミュニケーションを多くとり、より良いケアに努めました。
- ・ 外出や面会などの規制や行事が中止される中、利用者を楽しんでいただけるようグループ毎に余暇活動を実施しました。
- ・ 食事については、一堂に会した食事会はできませんでしたが、感染症対策および衛生管理を徹底しながら、月1回の町内食堂からの出前や季節の食材を使ったお楽しみ食事会、手づくりおやつの提供などで楽しむことができました。

(2) 短期入所生活介護 (ショートステイ)

家族の入院や他施設のコロナ感染症による受入停止のため、緊急ショートステイ利用の対応ケースが多くみられました。そのため、慣れない環境で過ごす不安へのケアと在宅へ戻った際に身体機能が維持できているケアを重視し、在宅時のケアの把握、個室の対応、マッサージ等在宅時に受けているサービスの受け入れなどを行いました。

(3) 通所介護・介護予防通所介護相当サービス (デイサービス)

在宅生活を継続して行えるように、入浴サービスや口腔ケアを実施しました。

(4) (介護予防) 認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)

看取り介護に向け、職員勉強会を2回実施しましたが、指針の作成には至りませんでした。

(5) 指定居宅介護支援事業 (泉平ハイツ指定居宅介護支援事業所)

利用者の「望む暮らし」を目指したサービス計画を作成しました。個々のアセスメントを実施し、適切なケアマネジメントを行いました。

2 管理業務

(1) 施設運営

- ・ 特別養護老人ホーム(ショートステイを含む)に係る災害及び感染症発生時の業務継続計画を3月末に作成しました。
- ・ ICT推進係を設置し、介護ソフト専門の技術者から指導を受け、それを全職員が習得できるように伝達、周知を図りました。その結果令和5年4月から、介護記録の電子化が本格稼働となり、多職種の情報共有が図れると共に業務の効率化につながりました。(特養)
- ・ 令和3年度の介護報酬改定によりLIFE(科学的介護情報システム)を導入しました。令和4年度はフィードバックに対し多職種で評価を行い、ケアの見直しを検討しました。また、自立支援、褥瘡予防、排泄支援に対しては嘱託医を交え計画書を作成すると共にLIFEにデータを提出しました。

(2) 公益的取り組み、地域貢献活動等

- ・ 地域貢献活動については、1月に地元地区のどんど焼きに参加し、やぐら作りのお手伝いをしたほか、行事に使用する笹竹や菖蒲などを地域の方々から頂戴したことで交流を図ることができました。
- ・ 利用者が地域行事に参加することは叶いませんでしたが、7月に中学生ボランティアが来所され、交流を楽しみました。
- ・ グループホームでは利用者が地元小学校にXマスプレゼントを送り、4年生の児童からお手紙などをいただくことによる交流を行いました。
- ・ 認知症サポーター講座については、新型コロナの影響で実施できませんでした。

(3) 修繕、改修実績(100万円以上)

9月にデイルームの床改修(990千円)、11月に介護ベッドの更新(20台、5,321千円)と、グループホームの入浴用リフト(浴槽、ボイラー含む)の整備(3,200千円)を実施し、利用者の介護環境の向上を図りました。

(4) 感染症対策の取り組み

新型コロナなど感染症対策に取り組みましたが、10月に特養ハイツ(ショートステイ)において、新型コロナの集団感染が発生したため、ショートステイの受入を停止するとともに感染拡大防止対策の徹底を図りました。

また、デイサービスでは、利用者及び職員に感染者や濃厚接触者が発生したため、休業もしましたが、感染防止対策を講じながらサービスの提供に努めました。